

# 令和4年度 施政方針

～ 羽曳野の未来創りに向けて ～

令和4年2月24日

羽曳野市長 山入端 創



令和４年第１回定例会に提出をいたしました令和４年度予算案および諸案件をご審議いただくにあたり、市政運営に関する基本的な考え方と各会計予算案において計上いたしました主要な施策の概要等を申し上げ、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

## ◆ ◆ はじめに ◆ ◆

令和２年７月に市長に就任した際、「課せられた使命の大きさと重責を厳粛に受け止め、市政発展に全身全霊をささげる覚悟であること」をお誓い申し上げてから、早いもので１年７ヶ月となります。一旦、振り返ることから始めた私の新しい羽曳野づくりは、喫緊の課題への対応やさらなる飛躍に向けた布石を投じるなど、緒に就いたばかりであります。皆様のご理解、ご協力のもと、全力で駆け抜けてまいりました。

一昨年１月に、国内で初めて新型コロナウイルス感染症の感染者が確認され、感染拡大等に伴い、全国に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が繰り返し発出されました。このような過酷な状況下においても、最前線で奮闘していただいている医療従事者をはじめとしたエッセンシャルワーカーの皆様、また、感染拡大防止にご協力をいただいている市民、事業者の皆様に、改めて深く感謝を申し上げます。

また、本市のワクチン接種においては、医師会や医療機関をはじめ関係者の皆様、民間事業者等の皆様のご尽力により、安全かつスムーズに進めることができ、その結果、接種率は大阪府内でもトップクラスという実績を上げることができました。

昨年後半にはワクチン接種の効果もあり、落ち着きを見せましたが、感染力が強い変異株であるオミクロン株の出現により、市民生活や地域経済が脅威にさらされています。3回目のワクチン接種の重要性が高まっており、この間に築き上げた地域の医療が一体となった羽曳野モデルの医療連携によって、円滑に実施し、集団免疫をより強固なものにしてまいります。

大阪府をはじめ、関係機関等との連携を図りながら、引き続き感染状況に注視し、また、常に緊張感をもって、市民の命と暮らしを守ることを最優先に市全体で一丸となって取り組んでまいります。

こうした中、政府は「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」を策定し、これを迅速かつ着実に実行することを通じて、「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」をコンセプトとする「新しい資本主義」の実現を図り、経済を自律的な成長軌道に乗せるとしています。

私たちの日常生活は、これまでの常識が一変し、新たな価値観やライフスタイルを生み出すなど、まさに今、大きな変革期にあり、未来を見据えた新しい経済や社会体制のあり方が求められています。

本市の財政状況に目を向けますと、令和2年度一般会計決算における経常収支比率は97.6%と、事業の見直しの効果によって前年度から1.2ポイント改善いたしました。しかしながら、類似団体平均と比較しても高い水準であり、硬直した財政構造が依然として続いています。

今後においても、市税の大幅な増収が見込めない一方で、高齢化の進展に伴う社会保障関係経費の増加や、老朽化した公共施設

やインフラの更新が控えており、さらには新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、より一層厳しい財政状況となることは避けて通ることはできません。

また、本市の人口は、令和2年国勢調査において、11万人を下回る結果となりました。さらには、国立社会保障・人口問題研究所の推計によりますと、2045年には7万3,000人を下回ることが見込まれています。そのため、現役世代の私たちが次世代への必要な手立てを適切に講じなければ、行政サービスや生活関連サービスの低下による地域住民の利便性やまちの活力への影響が懸念されます。

このような私たちを取り巻く大きな社会環境の変化の中において、今を生きる市民一人ひとりが豊かさを実感でき、安全・安心に暮らすことができるまちづくりに取り組まなければなりません。さらには、将来世代へ過度な負担を残さず、利益や財産を引き継ぎ享受することができる持続可能で魅力あるまちづくりを実現していくことが重要であります。そのためには、地域が持つ魅力や強みを最大限に活かしながら、自治体経営の視点に立った行財政改革を着実に実行していく必要があります。

私は、市政運営の基本的な考え方として『7つの柱』を掲げ、市民の皆様の声に丁寧に耳を傾けながら、あらゆる施策や事業について、聖域なきゼロベースでの総点検や再構築を行い、限られた財源の中で選択と集中を図るとともに、スピード感をもって対応にあたり、市政運営を進めています。

この間、自らが先頭に立った身を切る改革や不要不急の事業の休止、市民ニーズに即した事業への見直しにより、歳出を抑制する一方で、ふるさと納税の拡充によって歳入を拡大させることが

できました。また、SNSを通じて様々な市政情報を積極的に発信するとともに、市民の皆様の声をお聴きするための広聴機能を充実させ、市民と行政の情報共有を図り、地域課題の解決に向けた協働による体制づくりにも取り組んでいます。さらに、民間事業者とのパートナーシップの強化を図り、本市が抱える課題の解決に向けて、これまで成し得なかった新たな視点と発想による行財政運営を一貫して行っています。

こうした取り組みを着実に進めてきたことによって、市政のさらなる発展に向けて、そのはじめの一步を確実に踏み出すことができました。

令和4年度は、これまでの取り組みを加速させるとともに、新たな事業にもさらに挑戦してまいりたいと存じます。

昨年、実業家の前澤友作氏からいただきました寄附のように、今後も、全国各地の皆様から羽曳野を応援していただけるよう、民間事業者の皆様ともこれまで以上に連携を強化し、熱意と創意工夫をもって、新たな財源の獲得につながる取り組みを積極的に進めてまいります。

2025年開催の大阪・関西万博は、本市のポテンシャルの高さを世界にアピールする絶好のチャンスであります。このチャンスを活かすべく、自由で大胆な発想とダイナミックな動きで本市の魅力を力強く発信するため、マーケティングやプロモーションを行う観光組織の構築を図り、地域の活性化の推進力である観光施策を大きく前に進めてまいります。

このような取り組み効果により、観光客や移住者の増加、地域経済の活性化を図ってまいります。

少子・高齢化や核家族化、グローバル化等の社会経済の急速な変化を受けて、価値観や生活様式が多様化するなど、人間関係の希薄化やコミュニティ意識の衰退等が課題となっています。

このような状況が、子どもの育ちを巡る環境に大きな影響を与えていることは否めず、特に近年相次いで発生している児童虐待問題に対して、私自身は目を背けることができません。羽曳野の次代を担う子どもが将来に明るい希望や目標を持ち、しっかりと成長していくことができるように、また、保護者が喜びを感じて子育てができるよう、切れ目のない包括的な支援に取り組んでまいります。さらに、学校指導体制の充実や、ICT利活用のための基盤整備、施設の安全確保等、子どもが学び、健やかに育つ環境づくりも積極的に進めてまいります。

こうした取り組みを力強く進めるためには、原動力となる市の組織体制の強化が必要となります。物事の本質を理解し、新たな取り組みや様々な課題に対して、柔軟かつ積極的に挑戦する人材を育成するとともに、多様化、高度化する行政課題の解決を図るため、専門的な知識と経験を有する外部人材の登用を進めるなど、戦略的かつ機動的に組織を運営してまいります。

今年の干支は「<sup>みずのえとら</sup>壬寅」です。この壬寅には、「厳しい冬を越え、生命力にあふれた芽吹きを迎え、新しいものが生まれ、成長する」という意味があるとされています。

令和4年度は、羽曳野の未来創生への道筋をつけていく年として、一意専心で取り組んでまいりたいと存じます。

どれほど厳しい状況におかれても、現実をしっかりと受け止め、臆することなく、改革を着実に前へと進め、市民の幸福のためになると思えば、これまでの枠組みに捉われず、新たな施策の展開に果敢にチャレンジしてまいります。

そして、まちの将来像やまちづくりの方向性を市民の皆様と共有し、民間事業者、団体、NPO、大学をはじめ、多様なまちづくりの主体となる皆様との連携を図りながら、コロナ禍という非常に厳しい難局を乗り越え、誰一人取り残さない、誰もがいきいきと活躍し、安心して暮らすことができる豊かなまちづくりをしっかりと進めてまいりたいと存じます。



## ◆◆ 市政運営に関する基本的な考え ◆◆

地域の魅力や資源を活かしながら、将来を見据えた指針となる第6次総合基本計画のもと、市政運営の基本的な考えである『7つの柱』に沿って、行財政改革とともに未来につながる投資を重点的に進めます。

### 第Ⅰの柱 行財政改革の推進

これまでの習慣や型に捉われることなく、新しい発想で魅力あるまちづくりを推進するためには、安定した行財政基盤の確立が必要不可欠です。

多様な自主財源の獲得に向け、ふるさと納税における魅力ある返礼品のさらなる充実や、企業版ふるさと納税をはじめとした民間活力の活用等、新たな手法を積極的に取り入れます。また、受益者負担の適正化の観点から、使用料・手数料を見直します。

新型コロナウイルス感染症拡大を契機に、社会全体において、DX（デジタル・トランスフォーメーション）が急激に進展し、デジタル技術やデータの活用により、住民の利便性の向上を図ることが急務となっています。そのような中で、国の自治体DX推進計画に基づいた行政手続のオンライン化等による新たな時代に適合した行政サービスへの転換を推進します。また、デジタル社会の基盤となるマイナンバーカードのさらなる普及促進に積極的に取り組みます。

目まぐるしく変化する社会経済情勢や多様化する市民ニーズに対応した施策を、効率的かつ機動的に展開することができるよう、組織の見直しを図ります。その上で、それぞれの組織が基本的な考え方や目標を明確にし、各部局長がリーダーシップやマネジメント力を発揮することによって、自立的に目標に向かって施策を



進めることができるよう組織力の強化に取り組みます。

そして、組織を支える職員一人ひとりの意欲や能力を最大限に発揮することができるよう、人事評価制度を効果的に機能させる運用へと転換します。また、行政を担うプロフェッショナルとして、コンプライアンスの徹底を図るとともに、市民ニーズを的確に把握し、前例に捉われない自由な発想と判断で、組織の目標に沿って行動できる人材を育成します。さらに、外部からの専門的な人材の登用や女性職員の管理職への登用拡大、キャリア形成への支援等に積極的に取り組みます。

人口減少や少子・高齢化が進展する中で将来を見通し、行政課題への的確な対応や効率的な事務執行を図るため、広域連携をはじめとした近隣自治体間の連携を進めます。

また、公有財産の適切なマネジメントを考慮しながら、公共施設跡地の最も有効な活用方策について、総合的な見地から検討します。

## **第2の柱 子育て支援・学校教育の充実**

地域、家庭、学校等、子どもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、子どもの権利を保障し、生命・安全を守り、健やかな成長を社会全体で後押しすることが求められています。

子どもや家庭が抱える様々な複合する課題等に対し、適切に対応するため、「（仮称）こどもえがお部」を創設するとともに、専門的な人材を配置するなど、制度や組織による縦割りの壁を越えた切れ目のない包括的な支援に積極的に取り組みます。

また、養育費の不払いによって経済的に困窮するひとり親家庭を支援するとともに、多子世帯における経済的な負担の軽減を図るための取り組みについて検討します。

幼児教育・保育については、就学前教育・保育のあり方に関す

る基本方針に沿って、新たな認定こども園の設置に向けて取り組みます。

学校教育においては、急速な情報化の進展等、急激に変化する社会に対応する資質や能力を育むため、I C T教育を推進します。また、グローバル社会へ対応するため、外国語教育の充実によりコミュニケーション能力の向上を図るとともに、外国の様々な文化に触れる機会を確保し、国際的視野の育成に取り組みます。

食育の推進を図り、栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供するため、認定こども園において全員給食を実施するとともに、老朽化が著しい学校給食センターの整備を推進し、中学校給食における全員喫食の実施に向けた検討を進めます。

さらに、児童・生徒数の減少が今後より一層進むことが想定される中、より良い教育環境の確保に向け、これからの時代にふさわしい市立学校の適正規模や適正配置等のあり方について、検討を進めます。

就労形態の多様化等への対応に向けて、留守家庭児童会の開会日の拡充を行い、児童の放課後等における居場所を確保します。

### **第3の柱 健康・福祉の充実と向上**

人生100年時代と呼ばれる現代において、生涯を通じた健康づくりと疾病・介護の予防を進めることが非常に重要です。

高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた羽曳野で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、包括的な支援の中心的な役割を担う地域包括支援センターを増設し、より身近に必要な支援が受けられる環境づくりに積極的に取り組みます。また、高齢者の心身の多様な課題を把握し、きめ細やかな支援を行う高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施により、加齢によって心身が衰え、社会と

のつながりが減少し、生活機能全般が衰えるフレイルや、疾病の発症・重症化の予防を図り、社会参加への支援を行います。

各種健康診断や検診の受診率の向上を図るとともに、生活習慣病予防対策に取り組むなど、健康寿命の延伸をめざします。また、高齢者のインフルエンザの発症や重症化等を防止するため、ワクチン接種の促進に取り組みます。

## 第4の柱 交通・インフラ整備の促進

交通環境の整備や中心市街地の活性化等、都市機能の充実に向けた計画的な都市基盤の整備が重要です。

市民生活において重要な基盤である道路については、大阪府や周辺自治体とともに都市計画道路八尾富田林線をはじめとした広域的な道路ネットワークの充実に取り組みます。移動の円滑化や安全な歩行空間の確保に向け、市街地における渋滞緩和を図るとともに、計画的な維持管理等を進めます。

恵我ノ荘駅周辺の安全性と利便性の確保に向けて、地元の理解と協力のもと、大阪府との緊密な連携・協力により駅周辺の一体的な整備に取り組みます。

老朽化が進む道路や上下水道等のインフラ施設や公共施設は、安全な利用を続けるため、長寿命化や更新等を適切に実施します。

市民の憩いの場となる公園については、周辺環境やニーズを総合的に勘案し、子どもから高齢者まで、誰にとっても安全・安心な空間づくりを進めます。

## 第5の柱 安全・安心なまちづくり

新型コロナウイルス感染症に対して、少しでも市民の皆様に関心を感じてもらえるよう、感染拡大状況を注視しつつ、ウィズコロナ下での社会経済活動の再開も視野に入れ、国や大阪府とともに

に、必要な対策や支援を適切に行っていく必要があります。

また、近い将来、発生が予見される南海トラフ地震等、いつ起こるか分からない災害に対して、防災・減災に向けた組織体制や機能の強化を図り、平時から市民や地域と連携した備えを進めていくことが重要です。

地域における各種防災訓練等を通じて、市民一人ひとりが防災意識や防災技術を高められるよう、自助・共助による地域防災力の向上を図ります。また、公助の観点から、防災倉庫の計画的な整備や感染症対策を含めた災害用備蓄物資の確保を行うとともに、災害時における民間事業者等との連携・協力をさらに拡充するなど、防災体制の強化に努めます。

さらに、動物愛護の観点から、災害時において、避難所にペットを受け入れることができる環境づくりに取り組みます。

多種・多様化する災害や消防・救急事案に適切に対応するため、近隣自治体5市2町1村による消防・救急体制のさらなる強化に向けた検討を進めます。

犯罪の抑止等に向け、警察署等の関係機関と連携した防犯カメラの設置や空家の適正管理を行い、安全・安心な生活環境を確保します。

人々の生活や生態系に影響を与える気候変動問題に対し、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出抑制に向けた取り組みを推進します。また、市民・事業者をはじめとした地域社会全体が、SDGsの視点で、環境問題に対する理解を深めるための普及啓発に取り組みます。

## 第6の柱 市民協働・地域自治

人口減少や少子・高齢化、生活様式の変化等により、市民ニーズや地域課題は複雑・多様化しており、地域の実情に即したまち

づくりを進めていくことが必要です。

市民の声を聴くタウンミーティングを実施し、地域が抱える課題等を共有するとともに、SNS等を通じて市政や市民生活に関わる様々な情報を積極的に発信することで、行政と地域が力を合わせて、課題の解決に取り組みます。

さらに、地域社会を維持するために必要不可欠である地域コミュニティ活動の活性化に向け、担い手の育成・確保に向けた支援を図るとともに、行政と地域をつなぐ地域担当制度を充実します。

## 第7の柱 魅力あるまちづくり

持続可能な発展とともに、魅力あるまちを創造するためには、地域の特性を活かした成長戦略を描き、市政運営に取り組むことが重要です。

大阪・関西万博を視野に、民間事業者と連携した「（仮称）羽曳野観光局」を設立し、世界遺産や日本遺産等の歴史資産をはじめ、ぶどうやワイン、食肉等の特産品等、大きなポテンシャルを秘めた地域資源を活用した観光によるまちづくりを積極的に進めます。また、旧浅野家住宅については、世界遺産や日本遺産に面した立地を活かした拠点整備のあり方について検討を進めます。

大阪都市圏や周辺都市との良好な広域的道路ネットワーク等の立地特性を活かした土地利用を誘導することで、企業立地を促進し、市税の確保や雇用の創出等、地域の活性化を図ります。

社会経済情勢の変化や市民の暮らし方の変化によるニーズの多様化に対応するとともに、新しい価値を生み出すため、民間事業者や大学をはじめ多様な主体との連携によって、知見、ノウハウや技術を行政運営に取り入れ、効果的に施策を展開します。

このような基本的な考えのもと、「総事業費枠の設定」「各自が当事者意識をもって行財政改革に取り組む」「歳入の確保」の3つの方針を掲げ、令和4年度予算案の編成を行いました。

その結果、令和4年度予算案といたしまして、

一般会計 429億6,910万8千円

特別会計 284億8,968万7千円

企業会計 109億6,838万7千円

総予算規模は、824億2,718万2千円となっています。

新型コロナウイルス感染防止対策に係る費用をはじめ、扶助費や特別会計繰出金の自然増等の要因もあり、一般会計において、前年度比13億7,039万9千円の増額となりましたが、安易な前例踏襲によることなく、創意工夫を行う中で事務事業の簡素化、合理化等を図り、この難局を乗り越えるために必要な予算を配分するとともに、「継続」と「成長」への投資を行っています。

昨年度は、羽曳野という豊かな土壌をさらに耕し、未来に向けた希望の種を蒔いた年でありました。令和4年度は、その種から可能性の芽が吹き、そして力強く根を張り、魅力あふれる都市という花を咲かせ、さらなる成長を図ってまいります。



## ◆◆ 主要な施策 ◆◆

それでは、令和４年度の主要な施策について、第６次総合基本計画に掲げる７つの「施策目標」に沿って、ご説明申し上げます。

### Ⅰ. 快適でうるおいのある 住みよいまち

安全で利便性の高い都市基盤の整備を進め、将来にわたり、誰もが安心して住み続けることができる魅力ある良好な住環境の確保を図ります。

○ 恵我ノ荘駅周辺整備については、大阪府と連携して進めている**一般府道郡戸大堀線歩道整備の早期完成を促進**するとともに、**恵我ノ荘駅前南側広場の整備**に向け、関係機関との協議を積極的に進めます。

○ 道路交通網の充実を図るため、**都市計画道路八尾富田林線の羽曳野工区第２期整備を促進**するとともに、接続する**関連道路にかかる予備設計を実施**します。

また、**西浦交差点**の円滑な交通流の確保に必要な整備工事に向けた**予備設計を実施**します。

○ 高鷲北幼稚園跡地においては、安全で安心して**ボール遊びができる広場整備**に向け、園舎の解体工事等を進めます。

また、関係機関等と連携・協力し、スケートボードができる広場等、**新たなニーズに対応した空間整備**に取り組みます。

○ 地域と連携しながら進めてきた**市営向野住宅**の整備については、**集約建替を完了**し居住環境を改善します。

また、空家の適正管理等により、良好な生活環境の保全を図るため、民間事業者と連携し**空家の流通や利活用を促進**します。

- 水道事業においては、**第6次水道施設整備事業**として、昨年に引き続き**壺井配水池の更新工事**や**伊賀受水場・低区第二配水池間の送水管の更新・耐震化工事**を実施するとともに、エネルギー・環境問題にも配慮した**西浦受水場改良工事**に着手するなど、安全で安定した水道水の供給に向け、計画的な施設整備を進めます。
- 公共下水道事業では、都市計画道路八尾富田林線の藤井寺工区の整備と連動して進める**雨水管整備に向けた実施設計**に着手します。

また、**碓井ポンプ場の設備更新工事**を実施するなど、ストックマネジメントに基づく計画的な管路・施設の長寿命化や更新を進めます。
- 持続可能な下水道事業の経営健全化に向け、**下水道使用料を見直します**。また、公共下水道の普及を促進するとともに、水洗化率のさらなる向上を図るため、**水洗便所改造資金助成制度を拡充**します。





## 2. 地域がつながり 安全で心安らぐまち

近年頻発する大規模災害に備え、市民の生命や財産を守るため、防災・減災機能の充実や、地域防災力の強化を図るなど、災害に強いまちづくりを進めます。

また、脱炭素社会、循環型社会の実現に向けた取り組みを推進し、環境にやさしい持続可能なまちづくりをめざします。

- 災害時に迅速に物資を届けることができるよう、必要な資機材を備蓄する**防災倉庫を整備**するとともに、感染症対策も含めた**災害用備蓄物資の確保**を図ります。

また、災害発生時における応援要請および受入体制の整備に向け、**受援計画を策定**するとともに、民間事業者等との災害協定の締結を進めます。

- 地域における防災講演会や研修会を開催するとともに、防災訓練を支援するなど、**地域の防災力の向上**を図ります。

また、職員を対象にした防災訓練や研修を効果的に実施し、災害時に即応できる体制づくりに取り組みます。

- 犯罪への抑止力を高め、安心して暮らすことができるよう、自治会等への防犯カメラ設置補助に加え、羽曳野警察署と連携し、**主要幹線道路周辺へ防犯カメラを設置**します。

- 2050年のカーボンニュートラル実現に向け、排出される温室効果ガスの削減目標等を定めた**地球温暖化対策実行計画を策定**します。また、再生可能エネルギーの導入も視野に入れ、目標達成に向けた取り組みを推進します。

- 土砂災害防止等の森林機能の確保に向け、森林の適切な管理を図るため、森林環境譲与税を活用し、**森林経営管理制度の導入に向けた準備に着手**します。

- ペットの犬や猫が迷子になった際に、飼い主のもとへ少しでも早く戻すことができるよう、大阪府内初の取り組みとして**マイクロチップ装着にかかる費用を一部助成**します。また、関係機関とも連携し、災害時における**ペットの同行避難に向けた環境づくり**に取り組めます。



### 3.ともに支え合い 健やかに暮らせるまち

住み慣れた地域でいつまでも健康で活躍でき、安心して暮らし続けることができるよう、関係機関等と連携しながら、市民一人ひとりの健康づくりや疾病・介護の予防を推進します。

- 75歳以上の高齢者に対する**インフルエンザ予防接種の公費負担を拡充**し、発症や重症化の防止を図ります。
- 地域包括ケアシステムのさらなる充実に向け、**西圏域**において民間事業所による**地域包括支援センター**を開設します。また、他の圏域においてもセンターの開設を進めます。
- 高齢者のフレイルや疾病の発症等を予防し、住み慣れた地域で健康的な生活を送ることができるよう、地域の通いの場において医療専門職による個別支援を行うなど、**高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施**によるアウトリーチ型の支援に取り組めます。

- 国民健康保険被保険者の**高額療養費の支給申請手続を簡素化**し、対象となる被保険者の負担の軽減を図ります。
- がんに罹患された方に対し、がんとの共生による生活の質の向上を支援するため、**医療用ウィッグ購入にかかる費用を一部助成**します。
- 集団方式で実施している**骨粗しょう症検診**について、受診機会を拡充するため、市内医療機関における**個別方式に転換**するとともに、**検査方法の精度向上**を図り、骨量減少の早期発見、早期予防を促進します。
- 認知症高齢者が行方不明になった際の早期発見に向け、スマートフォンを使用し、周辺地域の協力者に検索依頼を行うことができる、**無料アプリを普及啓発**するとともに、アプリと連動した**ステッカーの利用にかかる初期費用を助成**するなど、見守りネットワーク事業の充実を図ります。
- 振り込め詐欺や還付金詐欺等の犯罪被害を未然に防止するため、高齢者を対象とした**自動通話録音機器の無料貸出しを実施**します。



#### 4. 未来に羽ばたく 子ども・若者を育むまち

すべての子どもの健やかな成長を支えるため、誰一人取り残さず、抜け落ちることのない包括的な支援体制を構築します。

また、児童・生徒一人ひとりの個性や特性に応じたきめ細やかな教育を推進するとともに、安全で安心な学校生活を送ることができる教育環境の充実を図ります。

- 2ヶ所目の認定こども園となる**向野こども園を開園**します。  
また、保護者との情報共有の円滑化と業務の効率化を図るため、向野こども園およびこども未来館たかわしに**登園管理システムを導入**します。
- 安全でゆとりある教育・保育環境を確保するため、**埴生幼稚園の保育室を増築**します。
- 養育費の不払いによるひとり親家庭の困窮化を防止するため、養育の取り決めにかかる**公正証書等の作成費用や養育費保証契約に要する費用を助成**します。
- 教育のめざすべき姿と方向性を明らかにし、教育振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、**教育振興基本計画を策定**します。
- 市立学校において、A I 機能を有する**学習アプリを導入**するとともに、指導者用デジタル教科書の有効利用による効果的な授業を展開するなど、**I C Tを活用した教育を推進**し、個別最適な学びの実現と学習意欲の向上を図ります。
- 外国語教育の充実と多文化共生教育を推進するため、**A L T の増員**を図ります。また、教育環境のさらなる充実や指導力の強化を図るため、**指導主事を増員**します。さらに、不登校児童・生徒への支援の充実に向け、西地域において**適応指導教室の試**

行的実施に取り組みます。

- 安全で安心な小学校給食の提供とさらなる食育の推進に向け、**学校給食センターの新築移転整備にかかる基本計画を策定**します。また、新たに委託する民間調理場における調理方法等の指示や、市立学校園の食に関する取り組み支援を行うため、**市費負担による栄養教諭を配置**します。
- 児童・生徒の安全確保と快適な教育環境の充実を図るため、**河原城中学校大規模改修工事に向けた基本設計および実施設計に着手するとともに、はびきの埴生学園第2体育館の非構造部材にかかる耐震化工事を実施**します。
- 将来における就学人口の減少を踏まえた、より良い教育環境の実現をめざし、**学校規模の適正化や適正配置等に向けた検討**を進めます。
- **留守家庭児童会の土曜開会の拡充**に向けて、人員の体制整備等を行い、さらなる児童健全育成を図ります。



## 5. 魅力発見 賑わいと創造にあふれるまち

本市が有する地域資源に磨きをかけ、新たな付加価値を創出することにより、まちの魅力の向上を図ります。また、民間活力を活かした戦略的かつ効果的なマーケティングやプロモーションを展開し、さらなる地域の活性化を図ります。



- 観光によるまちづくりを推進するため、**(仮称)羽曳野観光局を設立**します。

また、大阪観光局をはじめとした民間事業者等と連携し、地域資源を活用した新たな観光施策に取り組みます。

- **ふるさと納税**を通じた市の魅力発信に努め、さらなる寄附の獲得につなげるとともに、市内事業者等と連携した、新たな地場製品の開発も視野に**返礼品の充実**を図ります。

また、**企業版ふるさと納税の活用**により、新たな自主財源の確保を図るとともに、まちの魅力向上に向けた取り組みを進めます。

- 民間事業者と連携し、大阪府立環境農林水産総合研究所が墓山古墳の濠水ほりみずから培養した**オリジナル産業用酵母を用いた特産品の開発**を促進します。

- **旧浅野家住宅**については、観光・交流拠点としての整備に向けた**基本構想を策定**します。また、地域の特性に応じたまちの活性化を図るため、**第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定**します。

- **市公式LINEやYouTube等のSNS**をはじめとする様々な媒体を通じ、市政情報や市の魅力を広く内外に向けて積極的に発信します。



## 6. 歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち

市内に残る貴重な歴史資産の適切な保存や活用を行うとともに、その価値や魅力への理解の深化を促進するなど、シビックプライドの醸成を図ります。

また、市民一人ひとりが生涯にわたって、学びやスポーツ、文化等に親しみ、生きがいを持つことができる機会の充実や環境の整備を進めます。

- **応神天皇陵古墳**の遺構の保全を図るため、**外濠外堤の公有化**を推進します。さらに、公有化した史跡地の周知を図るため、**解説看板を設置**します。

また、**峯ヶ塚古墳**の<sup>つくりだ</sup>造出しと墳丘との取付き部分についての**確認調査を実施**します。

- **古市古墳群の説明パネル**を**市役所本館屋上に設置**し、来訪者が古墳の雄大さを実感できる環境整備を図ります。また、これまで実施してきた市民講座やシンポジウムの内容を書籍化するなど、古墳群の価値や魅力を発信します。

さらに、**藤井寺市とともに世界遺産である古市古墳群の保存・活用**に向けた取り組みを強化します。

- 多様なニーズや新たなライフスタイルに対応するため、パソコンやスマートフォン、タブレットで電子書籍が閲覧できる**電子図書館サービスを導入**します。
- **L I C**はびきのにおいて、**N H K ラジオ深夜便のつどいの公開収録を実施**し、市民が安らぎや楽しさを感じることができる機会を提供します。
- 今年夏の供用開始に向け、中央スポーツ公園内において、幼

児が楽しむことができる遊具も備えた**市民プールの整備工事**を進めます。



## 7. 市民とともに築く 自立したまち

市民一人ひとりがまちづくりに関心を持ち、積極的に参加する協働によるまちづくりを推進するとともに、市民と行政の情報の共有を図るため、さらなる広報・広聴機能の充実に取り組みます。

また、多様化する市民ニーズや行政課題に対応できる組織力の強化を図るとともに、市民の利便性の向上や業務の効率化に向けた行政のデジタル化を推進します。

- 市民の意見等を市政に反映し、地域の実情に即したまちづくりを推進するため、**公募形式のタウンミーティング**や、市内7地区における**地域区長懇談会を開催**します。タウンミーティングについては、対面形式に加え、オンライン形式による開催にも取り組みます。
- **おくやみ窓口**においては、**ICTを活用した行政手続のサポート**を行い、遺族の負担軽減を図ります。
- デジタル社会の安全・安心のためのパスポートである**マイナンバーカード**については、引き続き、常設の申請会場の設置や市内公共施設等における出張サポートを行うなど、より**一層の普及促進**に取り組みます。



- 市民の利便性向上を図るため、**行政手続のオンライン化**を推進します。また、金融機関への**預貯金照会を電子化するシステムを導入**するなど、業務の効率化を図ります。

議会運営においては、**タブレット端末の導入**による議案のペーパーレス化等を進めます。

- 適正な受益者負担を確保するため、窓口等における**手数料等を見直**します。
- 耐震性能や老朽化等の課題がある**市役所本館**について、**新庁舎整備にかかる基本構想・基本計画の策定**を進めます。
- 目まぐるしく変化する社会経済情勢に柔軟かつ的確に対応できる**人材の育成**を行うとともに、**適材適所の人員配置**、喫緊の行政課題への即応力を持つ**外部人材の登用**を進めるなど、組織の活性化と市民サービスの向上に取り組みます。



## ◆ ◆ むすび ◆ ◆

以上、令和４年度の施政方針および予算案の概要について申し述べさせていただきました。

本議会にご提案させていただいております令和４年度予算案をはじめ、諸案件に対しまして、ご審議の程、よろしくお願い申し上げます。

「 勇 往 邁 進 」

職員一人ひとりの声を大切にしながら、共に創意工夫を重ね、自由で大胆な発想と新たなチャレンジを行い、本市の持続的な発展に向けた市政運営を、ぶれることなく進めてまいりたいと存じます。

どうか、市民の皆様並びに議員各位におかれましては、「新しい羽曳野づくり」に向け、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。





HABIKINO CITY



世界遺産と日本遺産のあるまち